

# 宮崎まちづくり活動団体情報

VOL 3

令和元年6月3日、初めての宮崎まちづくり協議会が開催されました。地域の役員と共に、開かれた会として希望者を募り会議に参加していただきました。宮崎学区のまちづくりに協力したいと願う人が集まり、地域の課題を認識し共有していくのが「宮崎まちづくり協議会」です。宮崎学区の魅力を発見しようと、「歴史文化部会」が本宮山への昔の参拝道を歩いてくれました。また、宮崎学区の神社を訪問し集落の成り立ちを学んでいます。「くらがりの活性化部会」には、地域全体がお迎えするおもてなしの「こころ」が大切です。花を植え、トイレの改修などお迎えの準備が始まりました。「サイクリング部会」は、イベント開催にこだわらず、サイクリスト達との交流に目を向け始めています。宮崎学区の魅力を感じた人が定住してくれるようになるには、JA宮崎活性化部会により、購買部が継続出来るといいですね。またアイターンしてくれた家族をサポートする受け皿として、「子どもの居場所づくり部会」は、大切な役割を果たしてくれています。まだ始まったばかりですが、皆様のご協力で充実した協議会になれるようにご指導ください。当日は、青山周平さん夫人の紋也さんや中根義高県議も委員会に参加いただき、検討会を進めることが出来ました。



本宮山から 風頭山と大日山を望む

## 【サイクリング部会】

### サイクリングの郷づくり実行委員会 (委員長 山口和雄さん)

#### ○「多くの参加者を得た、新たな展開を」

令和元年度、宮崎サイクリングの郷づくり実行委員会では、新たな展開をめざして4つの目標を掲げています。

ひとつは、宮崎地区の「激坂」を巡るという考え方です。県道としては珍しいと言われる道路標識「勾配16%」がある千万町坂は、既にインターネットでは有名だという話です。千万町坂に限らず、田原坂、杣坂、萩坂など、サイクリングを始めた人たちにとっては、憧れの地であるとも聞きます。そんな「激坂巡り」のサイクリングマップを用意できたら、皆さんの関心と呼ぶのではないのでしょうか。若手が準備を進めてくれています

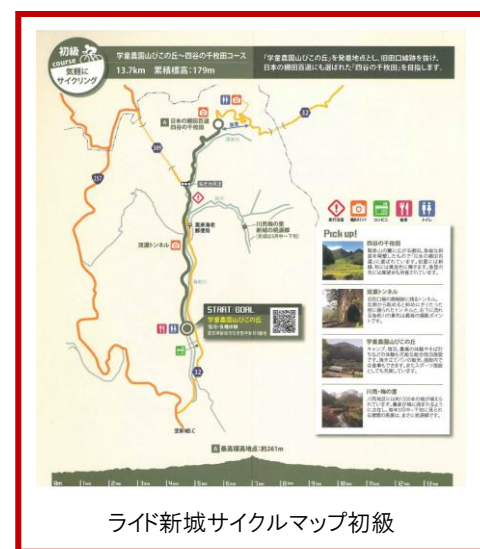
ふたつ目は、宮崎地区を「ゆったりサイクリング」ということです。先日、学区にある12の神社を巡る機会に恵まれました。宮崎を訪れる人たちに、神社の由来や岡崎市指定の「ふるさとの名木」などを巡ったりしてもらうことは「ゆったりサイクリング」にふさわしいことでしょう。さらに、万足平などの旧跡を入れ込んだり、カフェでの休憩を取り入れたりすれば、多くの人に宮崎の魅力を知ってもらえることになります。



三つ目は、山間地を利用して「マウンテンバイク」を盛んにするという事です。前の二つの目標は、主にタイヤが細く舗装された道路を走るロードバイクに関係しています。舗装のされていない山道を走るには、タイヤの太いマウンテンバイクが必要です。このMTBは、広場さえあれば、子どもたちを集めてMTB教室を開いたり、山間地が多い宮崎学区ならではのMTBコースを開設したりできるのではないかと考えています。

これらの目標を実現していくためには、多くの仲間が必要です。学区内で実際にサイクリングに親しんでいる人たちや、学区外でもサイクリングの郷づくりに賛同する人たちが集まることのできる場所と機会が必要です。これが四つ目の目標です。そのためには、一緒に活動する日を決め、多くの方が広い場所に集まるサイクリング・フェスティバルのようなイベントを実施できると良いでしょう。

これら4つの目標実現していくには、「宮崎まちづくり協議会」で実施している「くらがり活性化委員会」「歴史文化探訪委員会」などと連携し、さらには「ぬかた商工会」「ぬかたブランド協議会」などと一緒に活動する場面が出てくることでしょう。



ライド新城サイクルマップ初級

## 【くらがり活性化部会】

## くらがり活性化実行委員会（委員長 加山 茂さん）

## 〇くらがり自然観察会のご案内

3月～12月の第二日曜日に開催しています。植物・野鳥・キノコ等を観察しながらゆっくりとしたペースで歩きます。西三河自然観察会指導員の石黒氏・馬場氏・水谷氏の解説は、と



ても好評です。この頃の天気は異常とも言えます。日本の四季は何処へ行ったのでしょうか。石黒先生は、「気候変動が大きくなっています。植物にも影響があり、観察会を通じて地球や動植物が生存するのに厳しい環境へと移行している事を、正しく理解する事が一番の目的。」とおっしゃっています。先生は、宮崎学区の皆さんにも、「くらがり自然観察会」へ参加するよう望まれています。樹名板も、先生のご指導・市のご協力のもと新しいものになりました。❀6月ごろ白い小さい花を房のようにいっぱい咲かせます。木がもろくて麻がらのようだといひます。❀6月には雪のようなまっ白い花を咲かせるので、雪の木と呼んだのが名の起こりです。❀何という木でしょう？どちらも樹名板が付いており、珍しい樹木です。

## 【歴史文化部会】

## 歴史文化探訪委員会（委員長 清水 カさん）

## 〇二件の委員会活動を報告します

1件目は、令和になって2日目の5月2日に本宮山登山を企画しました。私を含め8名で、雨山ダムから徒歩で本宮山頂を経由して豊川市の本宮の湯に行き雨山ダムに帰ってくるというものでした。結果は、思っていたよりも険しく、本宮の湯での昼食が午後2時になりましたが、充実した楽しいハイキングとなりました。

2件目は、6月16日に宮崎学区内の神社巡りを企画しました。（写真参照）昨年12月にも実施し大変好評でしたので、2回目となりました。参加者は、私を含め10名でした。市民ホームに午前9時



に集合し、3台の軽自動車に乗り合わせて出発、千万町地区を回り、ジューバでランチその後宮崎地区及び南部地区の神社を巡りました。谷澤講師の説明を聞きながら、宮崎地区の歴史や文化に触れる1日が過ごせました。委員会活動は、毎月第2木曜日の午後7時から市民ホームに集まっています。宮崎地区の歴史に興味のある方の参加を歓迎します。

## 【教育環境部会】

## 子どもの居場所づくり委員会（委員長 鈴木久義さん）

子ども放課後教室は、現在全児童25名中、19名が登録しています。充実した運営に向け7月委員会で、夏休みの対応を協議しました。平日より活動時間が増えるため、長期休業期間の指導員を3名から1名増員します。また、活動支援する為の受け皿として無償ボランティア団体を結成します。内容は、竹を使った水鉄砲づくりの指導や絵本の読み聞かせ等を行うことです。しかし子ども放課後教室は、市役所（子ども育成課）の事業であり行政にボランティア登録が必要です。そこで、当委員会で調整してボランティア団体を結成登録していくことにしました。無償ボランティアを希望する人は、地区委員に連絡してください。（北部：加藤勝彦 83-2861 中部：鈴木久義 090-7032-2854 南部：山本一郎 83-2512）ボランティアの参加日程は、指導員さんと相談して決定します。活動内容については、宮崎学区福祉委員会ホームページに掲載予定です。



## 【農林業活性化部会】

## JA宮崎支店活用検討委員会（委員長 杉浦 傑さん）

## 〇地域住民の利便性の向上を検討

新しく改組された「宮崎まちづくり協議会」のもと、新しいメンバーを迎えて活動をしています。前回の定例会ではJAの店舗動向がはっきりしておらず、どのように検討していくのか問題が提起されました。

そこでJAに対して店舗の動向等の質問を、文書で行うことになりました。委員会として質問項目をまとめ次回の定例会で報告したうえで、宮崎まちづくり協議会として質問書をJAに送りたいと思っています。次回の活動報告では、質問概要を掲載したいと思っていますので、よろしくお願ひします。



「宮崎まちづくり活動団体情報」への投稿  
※皆さんの活動を紹介します。ご連絡ください。

〇編集・発行：宮崎まちづくり協議会

〇発行責任者：会長 梅村順一

〇連絡先：TEL0564-83-2034 FAX0564-83-2074

e-mail: uj@umekin.jp

## WRC報告

---

○農山漁村振興交付金（山村活性化対策）を活用した取り組み  
です。

平成30